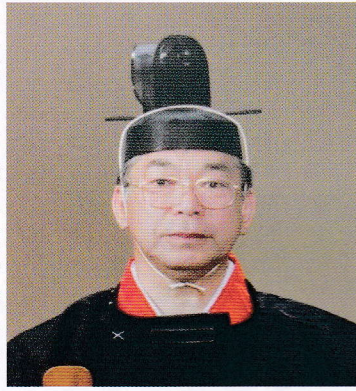


神道の友

新緑号
編集・発行
〒106-0031
東京都港区西麻布
4丁目9番2号
宗教法人「神道大教」本局
神道の友編集部
TEL 03-3407-0524
題字 管長 菊池重敏 書

『大祓詞のいのち』

管長 菊池重敏



大祓詞の制作年代や作者は不明ですが、一三〇〇年以上前に制作された、日本書紀(七二〇年)や古語拾遺に大祓詞の事が載っている。少なくなるとも一三〇〇年前には存在していた事になります。現在でも全国の神社で祭りに際して唱えらるる詞として最も長い生命を持ち続けています。大祓詞は約九百字から成り立っています。日本民族

の信仰や日本国の在り方、神様のお働き、人としての生き方や生活の知恵等が盛り込まれています。今回は、人としての生き方について、神の御教えを勉強します。人が生活する中で犯してしまふ、色々な罪事はどうしたら赦えるのか。一面には、祖神の御神徳にすがり、その罪を贖(あがな)ってもらふ事。一面には自らも進んでその罪の償いをしなければならぬ事。その償いの一つが、大祓詞の上段の最後に記されている「天津祝詞の太祝詞事を宣れ」「あまつのりととのふとのりとごとをのれ」の部分です。「天津祝詞」とは、天津神

のおっしゃられている立派なお言葉と言う意味で、天津神は「清く正しく睦まじくありなさい」とおっしゃっています。総ての物を生かし、伸ばし、育て、助け合ひ、許しあつて生きていく事を教えられています。「太祝詞事」とは、大神様のおっしゃられる素晴らしきとお言葉の通りに生きて行くと言う事です。「宣れ」とは、広く大きく宣言する事で、大神様のお言葉の通りに生きていきますと、ハッキリと確信を持つてお誓いしなさいと言う事です。そして、下段の「科戸の風の天の八重雲を吹き掃う事の如く」「しなだのかげのあめのやえぐもをふきはらうことのごとく」、科戸の風は、神のお力のこもった息吹、八重雲は、あらゆる悩みや、問題事。つまり、大神様の御守護によって、

色々な悩みや問題事を解決するように努力して行きなさい。そして、「朝の御霧夕の御霧を朝風夕風の吹き掃う事の如く」「あしたのみぎりゆうべのみぎりをあさかげゆうかげのふきはらうことのごとく」、霧とは、悩みの存在。朝の悩みは朝の風、夕の悩みは夕の風によって、その時々時間に問わずに、真心を尽くして解決して行きなさい。そして、「大津邊に居る大舟を舳解き放ち、船解き放ちて大海原に押し放つ事の如く」「おおつべにおおふねをへときはなちともときはなちておおわだのはらにおしはなつことのごとく」、大きな港に停泊している大船を、へ綱やとも綱によって港の岸につないでいる。広々とした大海で本来の活動が出来ない。へ綱とも綱は、人間関係のしがらみやきずな等による束縛。人間

もあれこれのきずなにながれて、安らぐ時も無く、ひも付きで引つ張り回されている。神の自由な胸に抱かれ、伸び伸びと生きて行くには、色々な悩みやきずなを断ち切つて行かなければならない。そして、「彼方の繁木が本を焼鎌の敏鎌以て打掃う事の如く」「おちかたのしげきがもとをやきがまのともまもちてうちはらうことのごとく」、繁つた木によつて先が見え無くなっている。焼鎌の敏鎌とは、正しい神心に叶った、知と行との一致した行動です。人には、色々な問題が沢山ある。その問題を解決するには、すばい知識と叡智、決断と行動によつて打ち破つて行きなさい。この様に心と行いを正して行けば、神様は罪と言う罪を赦い清めて、お守り下さると教えて下さっています。

明治天皇御製

やすくしてなし得がたきは世の中の人のひとたるおこなひにして
たはやすくいふ言の葉におこなひの
ともなふ人はすくなかりけり

大教院初詣

午前零時の新年を知らせる大教院の太鼓の音と共に新しい年が始まりました。

午前七時、御本殿にて大熊典禮齋主の元、歳旦祭を齋行。皇室の弥栄と国家の安泰、世界の平和、国民の安寧、五穀豊穡を御祈願致しました。コロナ禍で三度目となる今年の正月は、政府による行動制限はないものの、感染対策を緩めず受付の窓にシートを取付け、アルコール消毒をする等努めました。



深夜の初詣参拝者

参拝者の対応をし、天候にも恵まれ一日は昨年より多くの方に御参拝戴き、授与品も沢山お受け戴きました。おみくじを引かれる方も多く、新年祈禱や厄祓等の祈禱件数も増え、三ヶ日を過ぎましても、御参拝の方が御本殿前で手を合わせておられるお姿が多く見られました。お参りの後、大絵馬に願い事を書き、本局特製の手作り甘酒を楽しみ、福菓子を受取り笑顔で帰られる姿も恒例となって来ました。今後も参拝者が益々大神様との御縁を深め、又、心の拠り所として、大神様の御神威が発揚されます様努めて参ります。



続々と参拝者が続く初詣



新年祈禱の参拝者



初詣参拝者に挨拶する大熊部長



車椅子での御参拝者

年越大祓

年の瀬も迫る令和四年十二月二十一日、年越大祓が神道大教院御神殿にて厳かに行われました。

大祓式は六月と十二月の晦日(みそか)に行われ、普段の生活において、知らず知らずのうちに目に見えない罪を犯したり、穢れに触れたりした行為を心身共に祓い清め、次の半年間を神様の御心に叶う、清く正しく睦まじき生活を新たな気持ちで過ごせる様に祈願する、我が国の伝統行事です。

大祓は、記紀神話に見られる伊邪那岐神の禊祓を起源とし、古くから宮中や神社で行われています。定期的なこの儀式が行われる様になったのは「大宝律令」が制定されてからです。その後、天下万民の罪穢れを祓清める為の儀式となり、一年の内、半年に一度宮中三殿での恒例行事となった



八針神事を齋行する管長

様です。ただ、臨時として大嘗会や齋宮、齋院の卜占、疫病災異変等の際には適宜に執り行われました。神道大教院では古式に則り齋主である管長が大祓詞を一同に宣(のり)聞かせ、一同が応答します。続いて、贖物(あがもの)神事として、解縄(ときなわ)・八針(やはり)・切麻(きりぬき)・形代(かたしろ)神事を行い、人形に各自の念を込め自身の不浄や禍神(まがつかみ)の災禍を託し、心身の健全を願いました。

新年互礼会



参加者一同の記念写真

天候に恵まれた令和五年一月二十一日、今年初めの月次祭が斎行されました。蔓延する新型コロナウイルスに対する行動制限が徐々に緩和され、賑わいが少しずつ戻って来ました。月次祭終了後、弥栄殿大広間にて神道大教の教会長及び教師相互の親睦を深める令和五年の新年互礼会が開催されました。開会に先立ち、新しくCD化された教歌の音



月次祭を奉仕する祭員

曲に合わせて参加者が歌い、その後、責任役員菊地元宏師の乾杯発声の後、互いに懇親を深めました。又、恒例となっているくじ引きやお手製の甘酒も振舞われ、令和元年十二月より、感染者が瞬く間に増加し、感染拡大予防策として互礼会の中止を余儀なくされて来ましたが、徐々に行動制限が緩和され、久しぶりの顔合わせに参加者からも笑顔が溢れ、今年の互礼会は盛況に幕を閉じました。



懇親会風景



新年を寿ぎ乾杯



巫女舞を奉奏する橋村師



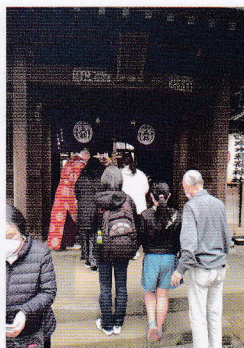
大祓詞奉唱

東京都北区滝野川三丁目六十一番地に鎮座する、神道大教直轄神社『四本木稲荷神社』の初午祭を、旧暦の二月三日に当たる三月一日に斎行致しました。当日は晴天に恵まれ、朝早くから「四本木稲荷神社を守る会」の皆様が清掃奉仕して下さり、清々しい御社殿と境内地において、午前十一時、菊池管長齋主のもとと祭典が厳かに斎行され、祭典終了後管長先生より御参拝の御礼と講話がなされ

四本木稲荷神社初午祭齋行



菊池管長の挨拶



参礼者玉串奉奠

ました。近隣の本局教師小泉輝人師が直轄神社となった当初より祭典のお手伝いをして下さり、地域の方々とも親交を深め、地域と密着した教化活動に御助力を戴いております。祭典には、十人程の御参列を戴き、和やかな雰囲気の中、盛大な初午祭を終了しました。地域の皆様、御協力誠に有難うございました。

節分祭齋行



節分祭を齋行する大熊典禮

季節の変わり目、二月の立春前日の二月三日に恒例の節分祭を齋行致しました。神前にて祝詞を奏上し、邪気を祓うと伝えられる豆撒きを行い、疫病等の災厄を祓い、国家の安泰、国民の繁栄と安寧を祈願しました。節分は一年に四回あり各季節の始まりの日（立春・立夏・立秋・立冬）の前日を表しています。江戸時代以降は、特に立春の前日を指す認識が強くなって来た様です。冬から春に転じる時



神殿玄関より豆を撒く典禮

期は変化が大きく、疫鬼が民に病や災禍をもたらすと考えられました。そこで疫鬼を祓い、古い年を送り、新たな春の陽気をもたらす立春を一年の始まりと捉え、その前日を特に大事な日としたという説があります。「鬼は外、福は内」。以前は大人や子供達の元気な掛け声が近所から聞こえて来ましたが、今ではその声も少なくなりました。長い歴史の中で形を変え、各土地の風習に則した節分行事が、失われる事の無い様に、大事に守って戴きたいものです。

春分霊祭齋行

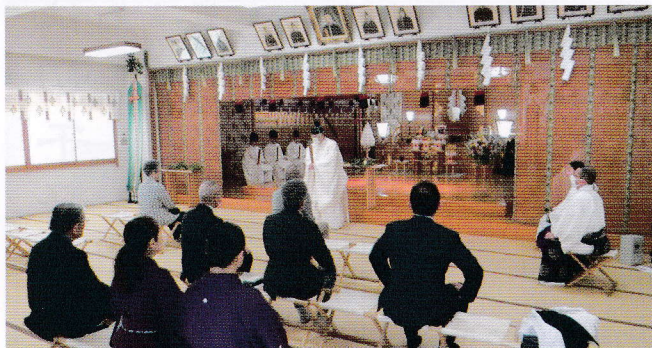
境内の桜の蕾も徐々に開き始め、暖かい日差しの中、弥生の月次祭に併せて、春分霊祭を齋行致しました。霊殿祭では、お花が飾られ、海山野のお供物に牡丹餅も供えられました。始めに、齋主一拝、献饌の儀、齋主が祥月祭並びに春分霊祭詞を奏上。弥生の祥月命日の御霊のお名前を一人ずつ奏上し、御霊殿に御祭祀の御霊の安寧をお祈りしました。

続いて橋村美樹師による慰霊の舞が奉奏され、雅楽の調べと共に美しく舞う姿に御霊もお喜びになられた事と思えます。続いて婦人会有志の先生方の先導により神教歌を祭員・参列者が心を一つに奉唱し、御霊をお慰め致しました。続いて齋主及び祥月命日を迎える御家族と参列者が順次玉串を奉奠。その後、撤



お祓いを受ける参列者

饌の儀、齋主一拝と続き管長が参列皆様への御礼の挨拶と御講話をされました。弥栄殿での直会は御希望者のみの参加とし、御参列の皆様には撤下品の品々をお持ち帰り戴き、滞りなく祭典は終了致しました。尚、全国の教師よりお心の籠った数々のお供物を御奉納賜り、感謝しております。謹んで御神前・御霊前にお供えさせて戴きました。有り難うございました。



菊池管長の挨拶



慰霊の舞を奉奏する橋村師

九星気学入門

六白金星

【基本的性格】

六白金星生まれは、父性的な資質を持っています。そのため、女性であっても性格は男性的で、独立心も行動力も旺盛です。

男女とも、強靱な意志と聡明さをあわせ持ち、弱きを助け強きをくじく親分肌タイプ。バカ正直で直情型で、お愛想も上手では有りません。

また、短気で負けず嫌い、人一倍プライドの高い人が多いでしょう。権力や規制には断固反発し、完璧主義で妥協がない頑固な面も有ります。

エネルギーが豊富な反面、気品が有り、孤高の人と思われがちなので、尊大な態度

をとっているると生来の才能が開花せず、宝の持ち腐れです。大らかさとゆとり有る優しさを心がける事で、長所が発揮され、チャンスもつかめます。

【仕事の特徴】

負けず嫌いな性格のため、仕事に没頭するタイプです。忍耐力や責任感もあり、知性を生かして、頭脳的に活動する職業に向いています。

とくに、専門的な知識を必要とする仕事、金銭面ともにも精神的な充実感を得られる職業に就いたり、リーダーシップをとる立場になると、その能力を存分に発揮できるでしょう。

ただ、才能が豊かなだけに、周囲と協調できず、思うように評価されない事も。また、他の人の仕事ぶりに満

足できずに、トラブルが生じる事も有りますから、人との調和を心がけて下さい。六白金星の人の適職は、フリーランス、ライター、証券アナリスト、フリーライター、映画監督、宝石デザイナーなどの貴金属や時計関係、教師、政治家、宗教家、ジャーナリスト、自動車関係などです。社交的な仕事や事務系には向きません。

【恋愛の特徴】

常識派で、いたって真面目。仕事も遊びも真剣勝負なので、恋の駆け引きはやや苦手です。

まれに奔放なタイプに見えても心のない恋愛をするような性格ではありません。相思相愛になれば、楽しい恋愛ができます。

気品の高さと完璧主義で恋のチャンスは少ないものの、クールな外見に秘めた情熱を理解してくれる人となら

理想的な恋人同士になれるでしょう。

ただし、情に流される面も有りますから、同情心から付き合ったり、結婚を決めるのは禁物です。

一度心に決めた人を末永く愛するのも六白金星の特徴で、男性は結婚すると亭主関白になりがちですが、家族を大切にします。

女性は、独身時代は恋愛より仕事優先で、晩婚の人が多いですが、家庭に入るとしっかり者の世話女房に。幸せな家庭を築きます。

『知っておきたい幸せになれる九星気学入門』
株式会社 神宮館 発行



著者 歴作家
大教正 井上象英

局員を募集致します

神道大教では職員を募集しています。

教場（教会・神社）の後継者や信者・崇敬者の御息など神道大教を信仰する方を募集致します。

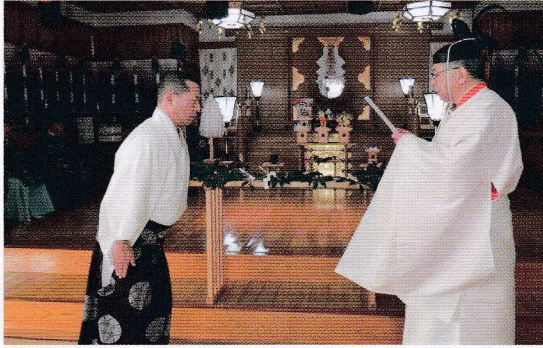
奉仕内容は神事奉仕・事務全般。

神事などの祭式は入局後研修を致しますので、未経験の方でも構いません。

また本局で奉仕しながら「國學院大學」へ通学される方も募集しています。

詳細は本局へお問合せ下さい。

神道大教創立百五十年 記念事業実行委員会



実行委員長の委嘱状を授与される長元総監

令和五年三月二十二日、弥栄殿二階大広間にて第三回創立百五十年記念実行委員会が開催されました。これまでの経緯として、昨年の大会議にて、令和六年に創立百五十年の祝賀を迎えるに当たり、令和六年十月二十一日に記念大祭祭の齋行並びに記念事業の実施が決定され、準備等については実行委員会を組織し進

めて行く事となりました。第一回目は実行委員会準備会として発足させ、出席委員の方より多数の意見と提案を戴きました。当初、実行委員は、責任役員、大会議議員、総代、次世代委員会等から拾数名を推挙し、お願い致しましたが、百五十年の大きな節目の記念大祭や記念事業を推し進めるには、全教師の方々の御参加や御協力を戴いて、一丸となって執り行いたいとの要望も多くありました。そこで管長より全教会・教師宛てに実行委員就任依頼を発送させて戴き、全国から募った実行委員の中から実行委員長を選出する事となりました。その後、第二回目に就任意志を表明された方々に、出席戴き実行委員長を推薦願

たところ、過去の記念事業同様に責任役員の方にお願いをしたい旨の意見を多数戴きました。これを受け協議の結果、出席者全員の承認を得て長元総監(責任役員)が実行委員長に就任する事となりました。今後の委員会運営方法については、実行委員より提案戴いた「建設部門」「式典部門」「記念紙部門」の三つに分かれて準備を進めて行く事となりました。後日各部門の担当希望を募り、今回三回目の委員会では各部門にリーダーと記録係を決めてそれぞれの部門に分かれて審議を行い、最後に全員集合して部門リーダーより報告をし、更に話を進めて行く形で各委員より質疑や意見が交わされました。今後共、より多くの全国教師方々の御参加を戴きまして、神道大教創立百五十年の祝賀の諸計画が盛大に実現出来ます様、御協力を宜しくお願い申し上げます。

九州地区地方研修会
並びに教師会総会の御案内

毎年恒例の「九州教区地方研修会・総会」を左記の通り開催致します。

九州在住にて令和三年六月以降に新補命された教師と新たに教師として活動を希望される方は、本研修を受講して下さい。

○日程

六月二日(金)～四日(日)

○会場

神道大教扇森稻荷神社

○携帯品

白衣・白袴・笄・白足袋・筆記用具・ハサミ

○連絡先

福岡県直方市山部四四八の一

神道大教扇森稻荷神社

長元祥泰

電話 〇九四九・二二・四九七一

○総会

六月四日午後零時

(総会のみでも御出席下さい)

墓石・記念碑・鳥居・一般土木

有限会社

富士光

代表取締役 小泉輝人

〒175-0092
東京都板橋区赤塚 1-10-7
携帯 090-1434-2088

御装束・祭具・神具・授与品

有限会社

岡本装束店

〒621-0018
京都府亀岡市大井町
小金坂3丁目35番地
TEL 0771-24-5085
FAX 0771-24-5095

創業 明治以前

各種御神符・守札 その他授与品全般

湊御神符奉製所

株式会社 湊

伊勢市神宮会館前(〒516-0025)
TEL(0596)22-2442(代表)
FAX(0596)28-8445
info@ise-minato.co.jp
http://www.ise-minato.co.jp

○申込方法
準備の都合上、五月二十二日(月)迄に御連絡下さい。

○講師
神道大教総監・禮典長
長元祥泰、典礼 大熊満

管長の動向 (対外行事・事務局)

一月一日 歳旦祭齋行・初詣体制実施 (五日まで)

十一月十一日 教派神道連合会理事会・新年会出席 (東郷記念会館 管長・総監・大熊部長)

十一月十三日 神道大教四本木稻荷神社初月次祭齋行 (神社役員と新年会開催 管長・総監・大熊部長)

十一月十九日 東京都教派神道連合会理事会・新年会出席 (南国酒家 管長・総監)

十一月二十日 百五十年記念事業実行委員会開催 (第二回)

十一月二十一日 初月次祭齋行・新年互礼会開催

十一月二十二日 責任役員会開催

十一月二十五日 神道六教派特立百四十周年記念会出席 (大手門東京会館 管長・大熊部長)

二月一日 月首祭

二月三日 節分祭齋行

二月六日 天玉稻荷初午祭齋行 (大熊部長)

二月十三日 神道大教四本木稻荷神社月次祭齋行 (管長・大熊部長)

二月二十日 埼玉県深田神社深田佳聖宮司弔問 (管長・総監・菊池主事)

二月二十一日 月次祭齋行

財務省来局 四本木稻荷神社に関して (管長・総監対応)

三月一日 月首祭

神道大教四本木稻荷神社初午祭齋行 (管長・菊池主事)

三月十日 教派神道連合会理事会出席 (國學院大學 大熊部長)

三月十三日 神道大教四本木稻荷神社月次祭齋行 (管長・菊池主事)

三月二十一日 月次祭・春分霊祭齋行・責任役員会

三月二十二日 百五十年記念事業実行委員会開催 (第三回)

四月一日 月首祭

教派神道連合会理事会出席 (國學院大學 管長・大熊部長)

四月十三日 神道大教四本木稻荷神社春季大祭齋行 (管長・総監・大熊部長)

四月二十日 祭典準備 (祭員・助勤者集合)

四月二十一日 春季大祭齋行

教内異動

【教師昇級】

○補 中教正

千葉・齊藤均 (令和五年一月十一日付)

○補 権少講義

千葉・岩上直樹 (令和五年一月二十八日付)

【辞職者】

○栃木 直属

中教正・高野桂稍 (令和四年十二月三十一日付)

【帰幽報告】

次の先生の帰幽の報に接し生前の御奉仕、御活躍を称え、謹んで哀悼の意を表します。

○令和五年一月二十四日帰幽 埼玉・深田神社 (長) 権大教正 深田佳聖師

○令和五年二月一日帰幽 福島・三山富沢支教云 (長) 少講義 亀井昇龍師

○令和五年二月五日帰幽 岐阜・真中神社 (属) 権少講義 梶原敏雄師

○令和五年三月十八日帰幽 栃木・出雲神社 (長) 中講義 山田泰史師

※令和五年三月三十一日現在 (敬称略)

宗教法人合併公告

この度、宗教法人「神道大教南大夕張神社」は、左記の通り宗教法人「神道大教札幌八幡宮」と合併する事になりました。この事について異議のある方は、令和五年五月十八日までに、その旨を申し述べて下さい。

令和五年三月十日

信者その他利害関係人各位

住所 北海道北広島市輪厚中央五丁目三十一十六

宗教法人 神道大教南大夕張神社

代表役員 菊池重敏

菊池管長の教場訪問

神道大教 導徳中教会

岐阜県大垣市綾野町三五〇
四番地二三〇に鎮座する

「神道大教導徳中教会」に
菊池管長と大熊部長が教場
訪問をしました。

教会設立は昭和三十九年三
月七日で、初代教会長に古
市一江先生が就任され、神
様から御神示を戴き多くの
信者を教え導かれました。
平成二十一年に八十歳で亡
くなられましたので、二代



御神前全般

目教会長に地元の氏神様、

大垣八幡神社へ二十三年間
勤めておられた御子息の古
市清先生が継がれました。

初代の教導を受け継がれ、

大神様のお導きの元、多く
の信者の心の支えとして御
活躍されましたが、御病氣

の為平成二十九年に七十歳
で御逝去されました。

そして奥様の古市文江先生
が御主人の跡を継がれ、三
代目教会長と成られました。

文江先生は、平成二十二
年から四年間、神道大教夏季



御神前上部



御神前内部

「神楽(かぐら)」
施術所を「神楽(かぐら)」

月次祭や御降臨式に來られ
て、文江先生を助けられて
います。

文江先生は、初代教会長や
御主人に勧められ、平成二
十一年に日本カイロプラク

ティックの資格を取得され、
とこの貴重な出会いを戴ける
事に感謝され、神明奉仕に

一人でも多くの方々に楽し
く、楽になつて欲しいとの
願いを込め、一生涯の仕事

として精進して行きたいと
言われています。多くの方々



左から大熊部長・管長・古市教会長

研修会を受講され、教師の
免状をお持ちでしたが、前
教会長のお手伝いをされる
程度で、御自身が神事をさ
れる事は有りませんでした。

しかし、突然御主人に先立
たれ、教会を継ぐ事と成り、
御主人のされていた神事を
思い出し、なんとか御奉仕

されて来ました。信者様は
月次祭や御降臨式に來られ
て、文江先生を助けられて
います。

文江先生は、初代教会長や
御主人に勧められ、平成二
十一年に日本カイロプラク

ティックの資格を取得され、
とこの貴重な出会いを戴ける
事に感謝され、神明奉仕に

一人でも多くの方々に楽し
く、楽になつて欲しいとの
願いを込め、一生涯の仕事

として精進して行きたいと
言われています。多くの方々

活かされています。

古市文江先生は、神道大教
院の月次祭や大祭に毎回沢
山のお供物を献上され、参
拝者にお分けしてありますの
で皆様からとても喜ばれて
います。

先生には、今後もカイロの
お仕事を通して、多くの方々
に楽しさや幸せをお導き戴
き、御主人様の御意志を継
がれ、今後も大神様の御神
徳を益々広められますよう、
教会の発展、更には古市先
生の御健勝と御活躍をお祈
り致します。

一人でも多くの方々に楽し
く、楽になつて欲しいとの
願いを込め、一生涯の仕事

として精進して行きたいと
言われています。多くの方々

とこの貴重な出会いを戴ける
事に感謝され、神明奉仕に